

任意団体 武庫川づくりと流域連携を進める会

兵庫県武庫川流域における武庫川づくり・川守（河川レンジャー）準備活動

イベントの 延べ参加者数	2,116人
活動掲載ホームページの ページビュー数	832ビュー
活動の全体目標 に対する達成度	90%



武庫川講座

◆成果と工夫したポイント

●成果

流域圏ニュース「武庫のながれ」3号は、各1,100部印刷。800部前後を自治体や議会、公共施設、会員やイベント参加者に配布。リーフレットを5,000部作成し配布。武庫川講座は27名が受講。出席率は96%。

●工夫

共生団体や自治体主催イベント（武庫川流域圏ネットワーク／河川清掃、武庫川市民学会／セミナー）との連携。

課題

武庫川は二級河川であるが故に、河川レンジャーのような仕組みづくりが遅れている。温暖化が加速し一層大雨が襲い始めた今、住民主体の川づくり「武庫川守活動」が急がれる。

目標

武庫川守活動の質の向上と広報に予算をかけることによって、より広範囲に、なおかつ、流域のだれもが理解できるような、住民主体の川づくりに向けた基盤整備。

活動内容

持続可能な武庫川守活動をめざし、住民主体の川づくりの真意を理解した川づくりリーダーを養成する武庫川講座を開設した。また、参加型の全国・流域一斉水質調査や、武庫川の魅力から危険までを視察する武庫川ウォッチング等のイベントを開催し、Webや流域圏ニュースなどの情報ツールも充実させた。出前講座、オープンカレッジへの講師派遣や、各地のイベントに積極的に出展し、様々な視点から武庫川守活動の普及啓発に努めた。

達成できなかったこと

大雨の出水による洪水が、想定外の時期に多数発生したことから、武庫川実態調査にかかる時間が増加して、流域圏ニュース「武庫のながれ」の発行回数が、1号分と号外が減った。

今後の展望

武庫川講座を充実させ、若手川づくりリーダーを養成することで、持続可能な武庫川守活動を目指したい。



環境オープンカレッジでの
水質調査実習